

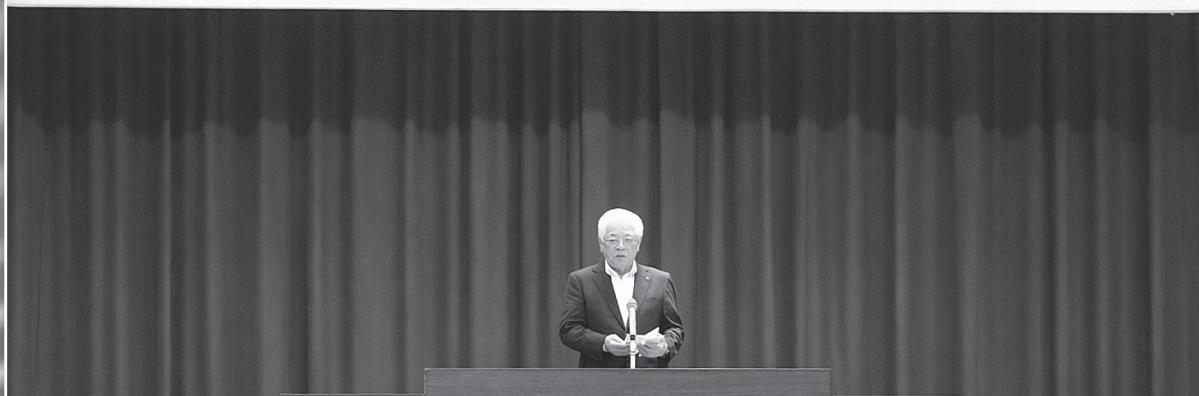


# 如意ヶ丘

第31号

《発行》令和8年1月31日

## 富山県立伏木高等学校 祝 国際交流科設置 20周年記念式典



国際交流科設置20周年記念式典 (R7.9.26)

### ごあいさつ



会長

山崎 泰邦

厳冬の候、会員の皆様にはご健勝で新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。平素より、如意ヶ丘同窓会に多大なるご支援を賜り厚く感謝申し上げます。

能登半島地震から2年が経過し、被害の大きかった地区では復旧工事も本格化し、生活環境は整いつつありますが、一方で被災住宅の公費解体も進み、空き地が目立つようになってきました。本格的な復旧・復興に向けて、高岡市も市長直轄の委員会を設置し市民を巻き込んだ復興計画の作成に着手しました。長い道のりになると思いますが、成果を見守りたいと思います。

昨年の同窓会活動も震災2年目ということで、春のゴルフ大会、関東如意ヶ丘同窓会への参加、如意ヶ丘同窓会総会の開催、如意ヶ丘同窓会関西支部総会への出席、海外語学研修派遣支援と、前年に引き続き全ての行事が開催されました。本部総会では、台湾、韓国、ロシア語の海外語学研修で学んだ事や体験した事を中心に生徒代表から各方面の発表がありました。

このような状況の中、昨年の8月13日に、県教育委員会が発表した2026年度の県立高校募集定員で伏木高校の定員

が現在より10人減の80人となり、学級数も3から2に減る事を受け、同窓会は勿論の事、地元住民や学校関係者も加わり「将来構想検討委員会」の初会合が開催されました。意見としては、SNSなどを駆使して情報発信に努める、等の意見がありました。また、昨年は、国際交流科が創設されて20周年の節目を迎え、9月26日に記念式典が行われました。記念講演として、現在JALグループのスプリングジャパン客室乗務員で令和3年度卒業の荒谷宏幸さんと、北日本新聞の記者で平成30年度卒業の黒川舞弥さんの二人から国際交流科志望の動機から社会人になって思う事を、体験を通して話され、在校生にとって大変有意義な講演となりました。

今年は、来年の創校100周年にむけて準備を進めている中、同窓会名簿の作成はすでに動き始めていますし、記念誌編纂委員会も始動し始めました。同窓会と学校側とが一体となって100周年事業実行委員会を発足させ活動が始まりました。本年はイベントも計画し、同窓会総会も大勢の会員が参加できるよう更なる工夫を凝らして開催する予定です。今年、来年と何かと慌ただしくなりますが、会員の皆様のご協力をお願い申し上げます。

伝統と歴史のある如意ヶ丘同窓会の更なる発展と母校の繁栄に、微力ではありますが引き続き努力してゆく所存であります。何卒ご支援賜りますようお願い申し上げます。

寒梅の候、会員の皆様には御身ご自愛のほどご祈念申し上げます。ご挨拶と致します。

# 伏木高校、その変わらぬ魅力



校長

吉國 陽子

如意ヶ丘同窓会の皆様におかれましては、日頃より本校への温かいご理解とご支援を賜り、深く感謝申し上げます。

昨年4月に伏木高校へ赴任して以来、桜や新緑、夏の青葉や秋の紅葉、そして冬枯れの木々の向こうに広がる海を幾度となく校舎から眺める機会がありました。また、連日観光客でにぎわう雨晴の道の駅へ立ち寄る機会があり、あの立山連峰をバックにした有名な景色に心動かされることが増えました。特に冬の晴れた日に高校の坂道を降りていくと、雪の白さとブルーグレーの影がくっきりと浮き出た絵画のような立山連峰が姿を現し、息をのむことができました。「ああ、こんな景色を幾多の同窓生の皆さんや職員は見てきたのか・・・。」と過去に思いを馳せることもありました。

さて、すでにご存じのことかと思いますが、来年度の伏木高校の入学募集定員は、90名3クラスから80名2クラ

スに減となりました。少子化の波が加速する現実はありませんが、引き続き本校の魅力を発信し続け、改革が必要だと思われる部分は迷わず変え、伏木高校を選んでくれた生徒たちの成長を後押ししていくことに変わりはありません。

今年度本校は国際交流科が設置されて二十周年を迎え、9月に式典を行いました。式典後の講演には国際交流科を卒業した2名の若い同窓生が素晴らしい講演を行ってくれました。伏木高校で学ぶ意義を含めた講演内容が大変よかったです。後日2人にインタビューした内容をまとめ、各中学校にも宣伝を兼ねて掲示していただくようお願いしました。全国各地で如意ヶ丘同窓生の皆様方が活躍されているところではありますが、このような若い同窓生たちが母校に誇りをもって頑張っている姿を見ることは我々教師にとっても大変嬉しいことです。そして、令和9年度の百周年には、多くの同窓生が来校されますよう期待しています。

結びに、如意ヶ丘同窓会の皆様の益々のご健勝とご多幸を祈念いたしますとともに、今後とも本校への変わらぬご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## 総会報告

### 伏木高校如意ヶ丘同窓会

令和7年度如意ヶ丘同窓会定期総会が7月12日(土)16:00より、伏木コミュニティセンターにて63名の参加にて開催されました。如意ヶ丘同窓会関西支部より本山紀美子様にご臨席賜りました。

総会では山本副会長の司会進行にて、同窓会物故者への黙祷を捧げたのち、山崎同窓会長、吉國校長先生よりご挨拶を頂き、議長に選出された山崎会長が議事を進行されました。

令和6年度事業報告、会計報告、特別会計報告、国際教育基金会計報告ののち、監査報告があり、続いて令和7年度役員改選、事業計画、会計予算、特別会計予算等すべての議案が満場一致で承認可決されました。今回新たに副会長に大坪悟さん、山口勝さんが選任され、また、監査に田中利満さんが選任されました。

総会議事終了後、在校生から海外語学研修の発表がありました。韓国語コースは、清明高校、中国語コースは、台湾の新北高級中学校、ロシア語コースは、函館市のロシア極東連邦総合大学函館校とそれぞれ訪問され、有意義な語学研修の成果の報告がありました。続いて琴部による厳かな琴演奏があり、日頃の練習の成果に惜しめない拍手が贈られました。

総会でも案内がありました。いよいよ創立100周年に向けた本格的な準備が始まります。令和9年10月8日(金)に記念式典が開催されます。同窓会会員の皆様方には、今まで以上のご支援ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

副会長 林 延幸 (伏高31回卒)



## 令和7年度 如意ヶ丘同窓会顧問・役員

役職	卒業回数	氏名
顧問	商業 16回	大黒 幸雄
〃	北高 3回	山下 和夫
〃	伏高 16回	牧 亨
〃	伏高 18回	山口 正志
〃	伏高 38回	石須 大雄
〃 (関東如意ヶ丘)	北高 6回	酒井 敬司
〃 (関西支部長)	伏高 12回	杉林 清
〃 (学校長)		吉國 陽子
会長	伏高 23回	山崎 泰邦
副会長	伏高 22回	増井 修
〃	伏高 28回	谷内 浩仁
〃	伏高 30回	炭谷 強
〃	伏高 31回	林 延幸
〃	伏高 31回	松嶋 浩二
〃	伏高 37回	条谷 正利
〃	伏高 39回	戸澤 秀行
〃	伏高 40回	宮越 一郎
〃	伏高 40回	山本 政則
〃	伏高 42回	山 鉄也
〃	伏高 43回	山本 健一
〃	伏高 43回	城光 茂
〃	伏高 44回	杉本 和文
〃	伏高 44回	増岡 寛之
〃	伏高 44回	山岡 弘之
〃	伏高 50回	加治 幸大
〃	伏高 50回	川端 秀和
〃	伏高 50回	大坪 悟
〃	伏高 51回	奥原 理
〃	伏高 51回	山口 勝
監査	伏高 26回	澤武 博
〃	伏高 35回	田中 利満

## 関東如意ヶ丘同窓会 便り

事務局長 北山 雅子 (伏高 13 回卒)

### 関東如意ヶ丘同窓会総会 報告

令和 7 年 7 月 8 日、第 29 回関東如意ヶ丘同窓会総会が、台東区の浅草ビューホテル「両国の間」にて開催され、総勢 20 名が参加しました。開始前には、大河ドラマ「べらぼう～蔦重栄華乃夢噺～」の主人公・蔦屋重三郎ゆかりの「大河ドラマ館」(台東区民会館 9 階)を見学。登場人物の衣装や小道具の展示を楽しみ、参加者同士の交流も深まりました。

正午より北山雅子事務局長の司会で総会が始まり、物故会員への黙禱に続いて、酒井会長から「日頃のご協力に感謝します。今日は自分へのご褒美として楽しい一日を過ごしましょう」と挨拶がありました。議事では、北山事務局長より令和 6 年度の活動報告として、国際教育基金への協力、本部総会への出席、曳山祭や野球部支援などの故郷応援活動が紹介され、令和 7 年度の活動計画も説明されました。

来賓の針山健史富山県議会議員(曳山委員会会長)からは、県人口が 100 万人を割り、18 歳人口が昭和 49 年比で半減しているという現状の中、伏木・古府・太田の 3 小学校統合など少子化対策の重要性が語られました。さらに、林延幸副会長からは、母校が令和 9 年に創立 100 周年を迎える予定であることが報告され、野口安嗣先生からは 100 周年に向けた準備の開始が伝えられました。吉國



陽子校長からのメッセージでは、「国際交流科」という特色を持ちながらの学校の様子について述べられました。

最後に中澤常任幹事の音頭で万歳三唱を行い、全員で校歌を斉唱。金山副会長の挨拶をもって閉会しました。

懇親会はホテル 26 階「スカイグリーンブッフェ 武蔵」にて開催。北日本新聞社東京支社長・佐々木弘恵様の乾杯で始まり、和洋中の豊富な料理を楽しみながら旧交を温めました。第二部では明治座へ移動し、五木ひろし・坂本冬美らの出演による舞台「喧嘩安兵衛」およびスペシャルショーを最前列近くの特等席で鑑賞し、参加者一同、心に残る一夜を過ごしました。

## 関西支部 便り

関西支部事務局長 田島 優 (伏高 24 回卒)

### 第 29 回如意ヶ丘同窓会関西支部 総会・懇親会

彼岸を過ぎて、大変暑かった今年の夏もようやく落ち着きを取り戻した令和 7 年 9 月 28 日、第 29 回如意ヶ丘同窓会関西支部総会・懇親会が「道頓堀ホテル」において開催されました。山崎泰邦会長、母校の吉國陽子校長にもご参列いただき、支部会員 11 名と合わせて 13 名で行われました。

冒頭、校友物故者への黙禱を捧げました。

次に、杉林 清支部長から挨拶があり、参加会員が高齢になってきましたが、2027 年の 100 周年記念まで健康に留意し支部活動を続けるつもりであるとの決意表明がありました。山崎会長が鉄道事故で到着が遅れたため、吉國校長が会長の分も含めて、開会のご挨拶をいただきました。富山県も少子化の影響で各校の在校生数が減少し、令和 20 年をめどに段階的に高校の数が減り、今の形を変えていく予定であること、本校ではロシアへは難しいものの韓国や台湾などへの留学、留学生の受け入れ、生徒は課外活動に積極的に取り組んでいるとの報告をいただきました。

その後議事が進行し、令和 6 年度事業・収支報告、令和 6 年度会計監査報告、令和 7 年度事業計画・収支予算案が各担当幹事から報告され、参加会員からの賛同を得て無事終わることができました。



休憩の後に懇親会を、西川副支部長の乾杯の発声で開始し、積もる話に花を咲かせました。参加者全員の写真撮影や役員のサポートで今年もカラオケ大会を開催し、ジャンケン大会では遅れて到着した会長が福の神のご加護で優勝するなど大変盛り上がりました。最後に会長から支部へ活動助成金が授与された後本校の将来に向けた同窓会本部での取り組みなどの紹介があり、万歳三唱で締めくくられました。西川副支部長から閉会の挨拶があり、麦谷一男氏が欠席のため恒例の一本締めが無く心残りでしたが、来年も再会を約束し解散となりました。

# 国際交流科20周年記念式典 記念講演について

教頭 田辺 一博

令和7年9月26日、本校国際交流科設置20周年を記念する式典を挙行了しました。当日は、生徒・教職員をはじめ、卒業生、地域関係者、並びに多数のご来賓にご臨席賜り、盛大に執り行われました。

式典は開式の辞により開幕し、続いて学校長より式辞が述べられました。学校長は、友好校より本校へのお祝いのメッセージを紹介し、国際交流科が20年間にわたり果たしてきた教育的使命と、地域社会ならびに国際社会への貢献を振り返りました。今後も海外語学研修や友好校の来校をはじめとする様々な国際交流の場を通して学び、将来は国内外のどこにしようとして世界を知る好奇心と寛容性を持ち続けるグローバル人材育成に努める決意を新たにしました。

次いで来賓祝辞では、同窓会山崎会長より、国際交流科の歩みを称えとともに、如意ヶ丘国際教育基金の設立の経緯が話されました。そして国際交流や語学学習により画期的で特色ある高校としてさらなる発展への期待が寄せられました。来賓紹介においては、長年にわたり本校の国際教育を支えてくださった方々をご紹介します、会場より温かい拍手が送られました。

記念講演には、社会の各方面で活躍する本校卒業生を講師としてお迎えしました。スプリングジャパン株式会社で客室乗務員としてご勤務の荒谷宏幸氏(令和3年度卒業)、株式会社北日本新聞社砺波支社編集部にお勤めの黒川舞弥氏(平成30年度卒業)の両名にご講演いただきました。お二人は自身の経験を踏まえ、語学力のみならず異文化理解や柔軟な思考の重要性を説き、高校生の将来に向けて今、育むべき力など生徒に深い示唆を与えました。



職員には記念品として20周年記念誌ならびに生徒がデザインしたイラストが入ったトートバッグが贈られ、参加者にとって記憶に残る一日となりました。

本式典を通じ、国際交流科の20年の歩みを改めて確認するとともに、次代に向けた新たな一歩を踏み出す契機となりました。今後とも本校は、国際理解と地域との協働を重視した教育を推進し、地域と世界を結ぶ架け橋となる人材育成に邁進してまいります。



三北 回卒高代 表 <b>山下和夫</b>	九北 回卒高 東光産業(株) 取締役 <b>布野彰一</b>	十伏 二回卒高 エムアールテクノサービス(株) 代表取締役 <b>作道 和宏</b>	十伏 四回卒高 (株)ウエノ 取締役会長 <b>上野宏芳</b>	十六伏 六回卒高 東光運輸(株) 代表取締役 <b>牧 亨</b>	十八伏 八回卒高 東洋通信工業(株) 会長 <b>山口正志</b>	二十伏 二回卒高 マスイエンジニアリング(株) 取締役会長 <b>増井 修</b>	二十伏 二回卒高 社会福祉法人 伏木会 理事長 <b>山崎泰邦</b>	二十伏 二回卒高 (有)北陸ケアサービス 会長 <b>阿尾隆司</b>	二十伏 二回卒高 (株)フエイス・シマダ 取締役 <b>柳沢昌文</b>	二十伏 二回卒高 (有)昭和運輸 代表取締役 <b>小泉哲二</b>	二十伏 二回卒高 井上動物病院 院長 <b>井上人士也</b>	二十伏 二回卒高 セブンイレブン高岡城東店 <b>松長 聡</b>	二十伏 二回卒高 島田工業(株) 代表取締役 <b>島田博司</b>
--------------------------------	--	--	--	---	---	---	---	---	--	--	---	--	--

4回目となる寄稿は、文化財の視点から離れて勝興寺の七不思議と浄土真宗(以下「真宗」という。)について考えてみたい。七不思議の伝承についてはここでは言及しないので、勝興寺を訪ねるかネットで調べていただくとして、中には首を傾げてしまうような迷信の類も含まれている。(例えば、「実のならない銀杏」や「天から降ってきた石」など)

実は、病気の平癒などを願う加持祈祷や占い、家内安全や商売繁盛などのお札の発行、大安吉日など日の善し悪しの選択、これらの迷信に囚われた行いは真宗では信仰の一部ではなく、むしろタブーとされている。

このようなものに救いを求める考え方は、『因果応報』つまり人の運命はその人の言動によってのみ決まるのであり、ただ日々自己を見つめ直して改善し、「南無阿弥陀仏」と唱えて信心を深めることが重要と考える真宗の教義とは相いれない、とされているのである。(とは言うものの、写真のように勝興



寺境内には七不思議の説明板があるが、)

それでは、北陸の布教にまわった真宗の僧侶は何をしたのだろう。それは病氣平癒を祈る加持祈禱などの代わりに、薬草の知識を教え広めていったと言われている。そしてこのことが真宗王国とされる富山や大阪(道修町)の薬業の礎になったと考えて間違いはないだろう。富山の薬売りはそのほとんどが真宗門徒で、懐や薬籠に懐中仏を忍ばせて全国をまわっていたとされ、「先用後利」の商いの形態も真宗の教えが根底にあると言われている。

高岡のことで言えば、金工や漆工の伝統技術・産業が脈々と受け継がれているが、これも真宗門徒の立派な仏壇や仏具の需要が高かったからこそと言えるのではないだろうか。

数年前から「14歳の挑戦」の生徒を受け入れて障子の貼り直しなどを手伝ってもらっているが、彼らからは和室どころか仏壇すらない家庭も少なからずあると聞く。近年の宗教に対する日本人の関心の希薄化を痛感するが、意識するか否かを問わず、富山の地域経済のみならず私たち越中人の心や日常生活の中に真宗の教えがまだ息づいていると信じたい。

「絆を深め、未来を拓く語学研修」

伏木高等学校 第2学年主任 齊藤 淳史

如意ヶ丘同窓会の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃より本校の教育活動に対し、多大なるご理解と温かいご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

今年度の語学研修は、昨年に引き続き国外二カ所(台湾・韓国)において、12月17日から20日までの4日間で実施いたしました。ロシア語選択者の北海道での研修につきましては12月に発生した青森県東方沖の地震の影響を鑑み、生徒の移動における安全確保を最優先に考え、国内での研修は日程変更という判断をいたしました。生徒1人1人が研究テーマを持ち、それぞれの場所で前向きに学びに取り組む姿が見られました。

研修に先立ち、本校において同窓会より国際教育基金からの助成金をいただきました。山崎会長様からの激励のお言葉は、生徒たちが異文化への一歩を踏み出す大きな勇気となりました。

台湾研修では、新北市立新北高級中学校を訪問しました。本校生徒による日本文化の紹介では、昨年の経験を活かし、より双方向の交流を意識したワークショップ形式を取り入れました。中国語でのプレゼンテーションに挑戦し、現地生徒からの



温かい拍手を受けた経験は、大きな自信に繋がったようです。

韓国研修では、友好校である清明高等学校を訪問しました。ホームステイを通して、現地の家庭生活を直接肌で感じる事ができました。言葉の壁に悩みながらも、身振り手振りを交えて心を通わせる生徒たちの表情は、出発前よりも一段と逞しく、頼もしく感じられました。



不測の事態により国内研修の日程変更という異例の事態ではありましたが、このような充実した研修を実施できましたのも、ひとえに同窓会の皆様の支えがあってこそです。現地で得た知見や国際感覚を、今後の進路選択や人生の糧にしていきたいことが、生徒たちにできる恩返しであると考えております。

最後になりますが、如意ヶ丘同窓会の皆様の今後益々のご健勝とご多幸を祈念いたしまして、報告とさせていただきます。各研修の詳細につきましては、同窓会総会にて改めてご報告申し上げます。

三伏 一七回 高代 松島工業(株) 代表取締役社長 松嶋浩二	三伏 一七回 高代 スミ工芸企画 代表 条谷正利	三伏 一七回 高代 三和運輸(株) 代表取締役社長 勝山英和	三伏 一七回 高代 日光商事(株) 代表取締役 戸澤秀行	三伏 一七回 高代 ティールエムシーエムアール(株) 代表取締役 前田伊和男	四伏 一四回 高代 宮越工芸(株) 代表取締役社長 宮越一郎	四伏 一四回 高代 ヤマ自動車(株) 代表取締役 山鉄也	四伏 一四回 高代 (有)聚楽 代表 田守盛久	四伏 一四回 高代 山岡石材工業(株) 代表取締役社長 山岡弘之	四伏 一四回 高代 株杉本美装 代表取締役 杉本和文	四伏 一四回 高代 高岡警備保障(株) 代表取締役 小杉千尋	五伏 一四回 高代 株ビーライン 代表取締役 大坪悟	五伏 一四回 高代 奥原電気 代表 奥原理	五伏 一四回 高代 山口鉄工所(株) 代表取締役 山口勝
---	---	---	---	---	---	---	--	---	---	---	---	--------------------------------------	---

# ～令和7年度進路状況～

進路指導主事 細口 真弓

令和7年12月12日現在

本校では三年間を通し、生徒の希望に応じた進路に対する丁寧な指導を心掛けております。卒業前に実施するアンケート調査では、「満足のいく進路実現ができた」と答えた生徒は、ここ数年90%を越え、非常に高い割合となっています。これもひとえに生徒の進路実現に向けての粘り強い努力と保護者等皆様からの温かいサポートの賜だと感謝申し上げます。

## （就職について）

高校生に対する有効求人倍率はコロナ以降最高の数字となっております。今後は個人の適性を鑑み、仕事に求めるイメージと企業とのマッチングを進めていくことが肝心だと思っています。

## （進学について）

上級学校への入試方式は、多様化・複線化が著しくなっています。強みや個性を活かした推薦型・総合型の入試も多く、年内入試志向も強まっています。一層、高校での基礎学力の定着が重視されているといえるでしょう。

今年度も教職員一丸となり、生徒個々の能力を最大限に引き出し、最善の進路を選択できるよう努力を重ねてまいりました。

同窓会の皆様には、本校生徒の自己実現のため一層のお力添えを宜しくお願いいたします。

## 大学等進路状況

進路先	合格者数	学校名・企業名等
国公立大学	7	富山大学、富山県立大学、群馬県立女子大学、都留文科大学、鳥根県立大学
私立大学	14	立命館大学、金沢学院大学、金沢工業大学、金沢星稜大学、金城大学、中京大学、帝京大学、常葉大学、福井工業大学
短期大学	6	富山短期大学、富山福祉短期大学、金沢学院短期大学
専門学校	16	高岡看護専門学校、臼井美容専門学校、富山情報ビジネス専門学校、富山調理製菓専門学校、富山県理容美容専門学校、国際動物看護専門学校、新潟農業・バイオ専門学校、日本工学院専門学校、大阪ペイビィ動物看護専門学校、横浜こども専門学校院
就職	12	アイシン軽金属株式会社、BBS ジャパン株式会社、塩谷建設株式会社、クラシエ製菓株式会社、株式会社HARITA、新徳漁業有限会社、北陸コカ・コーラボタックス株式会社、JFE ミネラル株式会社、利きみ、自衛官候補生

## 活動報告

## Fushiki High School

## ゴルフ大会報告

### ◆◆◆ 令和7年度部活動等の記録 ◆◆◆

(令和7年3月～12月)

#### 〈陸上競技部〉

第74回高岡市長盃争奪加盟団体対抗陸上競技大会  
 高校・一般男子 200m 第1位 坂又 陸斗(33H)  
 高校・一般男子 100m 第3位 坂又 陸斗(33H)

#### 〈書道部〉

第26回高校生国際美術展 書の部  
 佳作 鶴谷 和奈(21H)

第31回高岡市民美術展 書  
 未来賞 鶴谷 和奈(21H)  
 入選 前田 来桃(11H)  
 松井 季奈(22H)  
 杉本 南穂(23H)

第51回ふれあい書道展  
 奨励賞 鶴谷 和奈(21H)  
 奨励賞 前田 来桃(11H)  
 奨励賞 松井 季奈(22H)  
 敢闘賞 杉本 南穂(23H)

第50回富山県青少年美術展 書部門  
 入選 前田 来桃(11H)

#### 第23回全国書道展

特賞 松井 季奈(22H)  
 秀作賞 鶴谷 和奈(21H)  
 努力賞 前田 来桃(11H)  
 努力賞 杉本 南穂(23H)

#### 〈琴部〉

第36回富山県高等学校日本音楽演奏会  
 日本音楽部門 優秀賞

#### 〈その他〉

第10回高校生万葉短歌バトル in 高岡  
 優秀賞 チーム「家持の恋人たち」  
 南部 絢加(31H)  
 尾山 朱音(31H)  
 幅下 翠杏(31H)

第22回高岡・山町ポエム大賞  
 奨励賞 越本和華那(12H)

第26回富山県高校生ホームプロジェクトコンクール  
 入選 青木 花薫(12H)  
 高瀬 未羽(13H)

### 第40回 如意ヶ丘グリーン会

開催日 令和7年4月13日(日)

参加者 41名

#### 開催場所

氷見カントリークラブ

優勝 藤田 雅行(伏高20回)  
 次勝 城光 茂(伏高43回)  
 3位 畑 斉嗣(伏高31回)  
 4位 糸谷 正利(伏高37回)  
 5位 笹木 務(伏高26回)  
 6位 澤武 博(伏高26回)  
 7位 安藤 昌広(伏高30回)  
 8位 小泉 哲二(伏高26回)  
 9位 井波 勝利(伏高12回)  
 10位 市田 孝(伏高31回)  
 B G 畑 斉嗣(伏高31回)

公式インスタグラムはこちら▶



## お知らせ

伏木高校の公式インスタグラムができました。ぜひご覧いただき、フォローをよろしくお祈いします！

## INFORMATION

### 創立100周年記念版名簿発行のお知らせ

このたび、創立100周年を記念し、同窓会名簿を発行する運びとなりました。「安全」「正確」なデータ管理のため、同窓会を総合的にサポートする専門会社様サラトに業務を委託しています。同社より確認はがきや名簿購入の案内を発送して作業を進めてまいりますので、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

- 名簿発行日：令和8年10月下旬
- 体 裁：A4判(約320頁)
- 名簿価格：4,500円(送料・税込)

名簿作成委託先

株式会社サラト(兵庫県姫路市)のHP  
<https://salat.co.jp/>

### 受付窓口

富山県立伏木高等学校 同窓会事務局  
 〒933-0116 富山県高岡市伏木一宮2丁目11番1号 TEL0766-44-1514 FAX0766-44-1707  
 E-mail: yoshiki-rikako@ed.pref.toyama.jp HP: <http://www.fushiki-h.tym.ed.jp/>

### ②会報購読、会報広告の件

会報の購読を希望される方、および会報への広告掲載にご協力いただける方は、事務局までご一報ください。

### ③寄稿の件

本会報に掲載する原稿を募集いたします。学生時代の記憶に残る体験、経験談、思い出話など皆様のご力を頂き、より充実した紙面を目指していきたいと思っております。なお、原稿は1,000字以内でお願いいたします。下記のメールアドレス、または学校事務局まで送付ください。

### ④如意ヶ丘グリーン会参加者募集

毎年4月第2土曜日

## 編集後記

能登半島地震から2年を迎えようとしています。伏木地区は液状化による家屋の解体で空地が増え寂しい街並みになりました。伏木は歴史的にも国府や勝興寺そして国際港である伏木港など歴史と共にこの難局を乗り越えてきた歴史があります。地元の皆さんと連携を図りながら「伏木復興」に寄り添っていかねばなりません。如意ヶ丘同窓会役員は、2年後の2027年10月の創立100周年に向けて100周年実行委員会を立ち上げました。実行委員会では、約19,000人の卒業生を輩出している中で、歴史のページを飾った方々に母校の想いと参画できる記念事業を企画したいと願っています。100周年の節目に関係者各位の協力で成功させていきましょう。

副会長 城光 茂(伏高43回)